

教科別授業改善推進プラン（外国語科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）成果

- ・主体的に学習に取り組む態度が目標値に近づいてきていることから、多くの観点でおおむね目標達成できていた。

（２）課題

- ・引き続き、ディクテーションなど、領域横断的な力を育む指導を充実すること。
- ・全学年共通の取組を継続して実施すること（主に、Phonics）。

2 大田区学習効果測定の結果分析

（1）達成率（観点別経年比較）

評価の記号は、平均正答率が目標値を「△…上回っている」「▼…下回っている」

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第6学年	観点別 ・聞く △ ・アルファベットの書き △ ・単語の読み △ ・英文の完成 △ ・英作文 ▼ （令和6年の6年生の結果）	観点別 ・聞く △ ・アルファベットの書き △ ・単語の読み ▼ ・英文の完成 ▼ ・英作文 ▼ （令和5年の6年生の結果）	観点別 ・聞く △ ・アルファベットの書き ≡ ・単語の読み ≡△ ・英文の完成 △ ・英作文 ▼ （令和4年の6年生の結果）

（2）分析

6年	英作文に課題が見られるが、それ以外の領域は、理解の定着が見られている。 ○英語で身近な表現を聞きその意味を理解することやアルファベットの聞き・読み・書きは、目標値をおおむね上回っている。 ●問題の内容別正答率をみると、例文を参考にしながら、あこがれの人について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことにおいて、内容によっては、目標値を13ポイント程度大きく下回っている。 ●主体的に学習に取り組む態度が、わずかではあるが、依然目標値を下回っている。
----	--

3 重点課題

5年	・英語で表現することに対する興味関心を高めること。 ・アルファベットの大文字小文字を書き分けること。 ・英単語の意味を理解し、正しく発音すること。
6年	・例文を参考にしながら、簡単な英単語を用いて短文を書くこと。 ・アルファベットを聞いて書くこと。 ・自分や身近な人について簡単な語句や基本的な表現を用いて書けるようにすること。

4 授業改善策

5年	・ミニゲームやペアとの交流の機会を設け、英語で伝える楽しさを実感させる。また、単元ごとにスピーチなどの課題を設定して、できたという達成感を感じてさせる。 ・大文字と小文字の表記のルールを繰り返し指導し、定着させる。 ・授業内で英単語や英作文を書く時間を確保し、アルファベットを書くことに慣れさせる。
6年	・例文を参考にしながら、自分や身近な人について簡単な語句や基本的な表現を用いて書く活動を充実させる。（プリントやノートを活用する。） ・チャンツを歌ったり大事なキーワードをリピートさせたりして、聞く活動と話す活動をセットで充実させる。
両学年共通	・授業の始まりや終わり方など、英語学習の展開についての共通理解をする。 ・第4学年の外国語活動より、書く活動を取り入れる。

	(ノートを購入し、書く活動を充実させる。)
--	-----------------------